

◎ 「器から食卓へ」

～テーブルセッティングによる新商品・食空間提案～

瀬戸織部新商品開発プロジェクトチーム (有)スズカ 鈴木 忠

瀬戸織部新商品開発プロジェクトチームによる、「テーブルセッティングによる新商品の食空間提案『器から食卓へ』」を、11月27日～12月2日まで SMBC パーク栄にて展示しました。

12月2日の最終日は、テーブルコーディネーター吉田美紀子氏によるテーブルコーディネートセミナーを2回開催し、その際、メンバー11社の新商品をテーブルセッティングして、作成したプレゼンテーション「食卓(シーン)をイメージしたモノづくり」について、メンバーそれぞれの想いを来場された皆様に語る事ができました。



<会場の「SMBC パーク栄」の外観>

今回挙げさせていただいたテーマは『器から食卓へ』。

瀬戸焼の伝統技法を重んじ、新しい市場ニーズに沿った新商品を、単なる展示紹介ではなく、「生活提案」、「食卓提案」をテーマとして、コーディネートにも力を注ぎ、より身近にイメージしていただけるものを心掛けた発表の場でした。

「モノ余り」、「個性重視の時代」、「手間暇を惜しまず本物志向のモノづくり」、言うは易し行うは難しを実感した今回の商品開発でありました。

東京ドーム瀬戸織部参加メンバーの有志で5年前から始めたこのプロジェクト、商工一体となり今田功氏の指導のもと取り組んできましたが、先生のハードルは年々上がってきます。「女性目線のモノづくり」から始まり、リピーターが多く器に目の高い「東京ドームのお客様が満足いく新商品」、そんなモノづくりはまともな業界の考え方、既成概念に囚われた思考では、到底無理なことです。

先生の教え方は個別指導です。各社の個性を見出し、褒めては貶す、貶しては褒めちぎる。「いいねえ！」と言われればやる気を出し、「つまんねえなあ！」と言われては肩を落とす。声が大きく眼光鋭い先生に睨まれては逆らえないし、反省した振りをしてまた作り直す。指導を形に変えていきつつ、毎年見るメンバーの商品感性は変わってきたと思います。

個別指導のため、同じメンバーでありながら仲間たちの商品を見るのは、ドーム直前の今回のような発表の場が最初です。今回もメンバーそれぞれの商品は、個性ある食卓がイメージできる素晴らしい出来栄です。東京ドーム最終日、12:30からのステージイベントでもご覧いただけますので、「乞うご期待！」

最後に、ご指導して頂く今田功氏、吉田美紀子コーディネーター、場所を提供して頂きました SMBC パークの皆様、瀬戸陶磁器卸商業協同組合、愛知県陶磁器工業協同組合、瀬戸市役所ものづくり商業振興課の皆様に、感謝申し上げます。

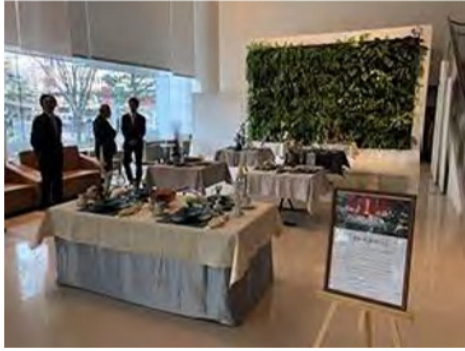
【参加メンバー】

(株)アイトー／(株)愛窯工芸社／(資)鐘忠陶器／(有)伍春／江風陶苑／(有)スズカ

(資)丸田商店／(資)丸八陶器／(有)丸藤製陶所／(株)

<会場の「SMBC パーク栄」の内部>

山長陶苑／品野セラミックタイル工業(株)



テーブルコーディネーター 吉田美紀子氏による、テーブルセッティング



(株)アイトー



(有)伍春



(資)丸田商店



江風陶苑



(有)丸藤製陶所



(資)丸八陶器



(有)スズカ



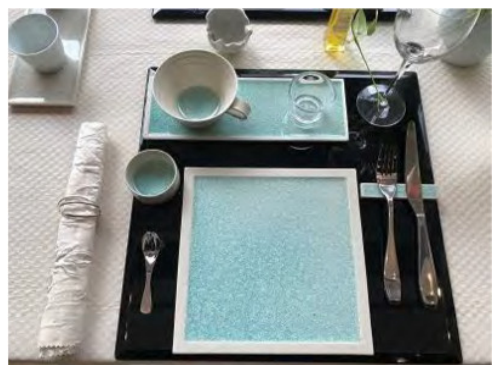
(資)鐘忠陶器



(株)愛薫工芸社



品野セラミックタイル工業(株)



(株)山長陶苑

